

段差昇降やアーム作業実演

災害対応ロボット 全国から最新技術が集結



若狭湾エスエルシーセンターのレーザー除染機の説明を聞く杉本福井県副知事(右)と須藤経産省産業機械課長(中央)

守る中、杉本達治・福井県副知事らがテープカットを行った。

④長期間にわたる復興予防——と様相が変化することもない対応すべきロボット



パネル討論(II写真右)では、コーディネーターの田所諭・東北大学大学院教授が、災害発生時から①数日間の緊急対応

の關係者が実物やパネルなどを出展し、説明を行った。

動くへ型ロボットを見て驚きの声をあげる園児たち



熱センサーを搭載したロボット、転倒防止機能または自動起立機能付きのロボットなど、様々な特

福井県と若狭湾エスエルシーセンターが主催する「災害対応ロボット技術交流会」が二十四日と二十五日、福井県敦賀市で開催された。原子力発電所での緊急事態をはじめ、自然災害や火災などにも対応できるロボット技術が一同に会し、二日間約千名が来場した。

開会式(II写真右)では交流会参加者や見学に来た地元の園児たちが見

つ効果的に対応を進めていけるとしたほか、福島第一原子力発電所内でのロボット活用事例についても紹介した。また、天

わることが成功事例につながるという意見の一方で、ニーズに固執しすぎ

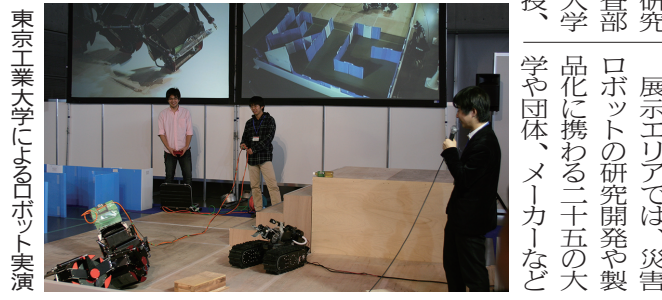
技術を紹介する未来科学館開館

東芝が生み出した電気冷蔵庫、可変速揚水発電システムなど、日本初・世界初の製品・技術が展示されている。また、「サイエンスゾーン」では、実験や体験型の展示・イベントを通じて、科学技術を楽しく学ぶことができる。



江守商事とスウェーデンBrokk社による無線遠隔作業

力研究開発機構福島技術本部技術主任、富森順・日本原子力発電原子力緊急事態支援センター所長が、それぞれの立場から災害対応ロボットの実用化に向けて意見を交換した。明確なニーズのもとユー



東芝が生み出した電気冷蔵庫、可変速揚水発電システムなど、日本初・世界初の製品・技術が展示されている。また、「サイエンスゾーン」では、実験や体験型の展示・イベントを通じて、科学技術を楽しく学ぶことができる。

入館無料。その他、開館時間、休館日、団体見学の手続きなどは、同社ホームページ(<http://www.toshiba.co.jp>)のプレスリリースを参照。

TENEX

Leading Supplier of Nuclear Fuel Cycle Goods and Services



株式会社テネックス・ジャパン
TENEX-JAPAN Co.,

東京都港区虎の門5丁目11番2号 オランダヒルズ森タワー14F
(Tel):03-5776-1511 (Fax):03-5776-1512 (E-mail):info@tenex.co.jp